

## 海老名市立図書館の指定管理者による運営等についてのご説明

- ◇ 平成27年10月27日、海老名市立図書館の指定管理者である共同事業体（CCC及びTRCが、本市の図書館運営について協力関係を解消するなどとする記事が、一斉に報道されました。  
（CCC=カルチャ・コンビニエンス・クラブ、TRC=株式会社図書館流通センター）
- ◇ 市では、このことについて、同日、CCC及びTRCの代表者を個別に呼び、事実確認を行いました。  
（CCC：武田代表取締役副社長兼CEO、TRC：石井社長）
- ◇ その中で、「取材に対しては、今後両者による共同運営は行わないと話しているのは事実だが、海老名は責任を持って履行したいと伝えており、海老名から撤退するとは一切言っていない」との説明を受けました。
- ◇ また翌日の10月28日（水）には、CCC武田副社長、TRC石井社長及び市長の3者会談を行い、その中で、共同事業体として、今回、及びこれまでの一連の報道に関して市及び市民の皆さまに多大なるご心配・ご迷惑をおかけし、たいへん申し訳なかったとの謝罪を受けました。
- ◇ 併せて、両者から、「今後も共同事業体として、2社ともに協定が満了する平成31年3月31日まで、責任を持って協定内容を履行することを約束する」との誓約をもらい、30日（金）に文書で提出されました。（別紙を参照）
- ◇ なお、手続き誤りのため、指定管理料のうち、翌年度に繰り越す額9,052万6千円が平成26年度分として支払われていることについては、10月27日に指定管理者側から繰り越し額全額の返金の申し出があり、翌28日に入金を確認しました。
- ◇ 教育委員会では、今後の図書館行政運営に当たり、議員各位をはじめ、皆さまからのご意見・ご要望を参考にしながら、図書館が「知の拠点」として、年代を問わず多くの方にご利用いただける施設となるよう、指定管理者と共に、継続的な改善を図ってまいります。

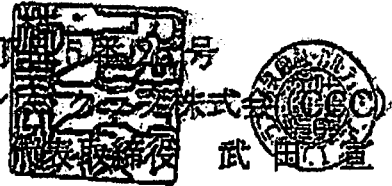
問い合わせ：  
海老名市教育委員会教育部  
次長 金指（内線655）

平成 27 年 10 月 30 日

海老名市長  
内 野 優 殿

海老名市立図書館指定管理者 CCC・TRC 共同事業体  
(代表団体)

大阪府大阪市北区梅田二丁目五番の六号  
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社  
代表取締役 武田 正宣



(構成団体)

東京都文京区大塚三丁目  
株式会社図書館流通センター  
代表取締役社長 石 橋 隆 昭



海老名市立図書館の指定管理者として、これまでの一連の中央図書館に対する報道に関し、海老名市及び海老名市民に多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことに対し、深く謝罪いたします。

私どもは、海老名市民のさらなる幸せ向上のため、日々、誠心誠意指定管理者業務にあたっており、今後もより良い図書館運営に向けた改善を進めながら、共同事業体として、2社共に基本協定満了日の平成 31 年 3 月 31 日まで責任を持って協定内容を履行することをお約束致します。